

2016年3月16日(水)

日刊建設工業新聞(4)

GLP

# JFEシビルで起工

## 埼玉・川島町に大型物流施設



GLP川島の完成イメージ

グローバル・ロジステック・プロパティーズ（GLP、帖佐義之社長）は15日、埼玉県川島町で計画していたマルチテナント型物流施設「GLP川島」の建設工事に着手した。設計・施工はJFEシビルが担当。同日に



鉄を入れる帖佐社長

関係者による起工式が現地で開かれ、17年4月の竣工に向けて工事の安全を祈願した。

神事には帖佐社長、JFEシビルの藤井善英社

長ら関係者が出席。帖佐社長は「埼玉県内の物流施設へのニーズは底堅い」と見ており、幅広い業種の企業に付加価値の高い多様な物流ソリューションを提案していく」と述べた。

建設地は川島町上伊草ほかの敷地約2・7畝。首都圏中央連絡自動車道（圏央道）川島インターチェンジ（IC）に近接し、国道254号も利用可能だ。

建物はS造4階建て延べ約4万9000平方メートルの規模。3階が事務所エリア、1、2、4階が倉庫エリア。1階部分は土地の高低差を生かして高床・低床両方のバースを設置。2・5トンのフォークリフトが走行可能な構造にする。

2階部分は、天井高を必要としない企業などが入居する際、後付けで「メザニン（中2階）フロア」を設置することで機能的・効率的なオペレーションが可能になる。メザニンフロアを追加した場合の延べ床面積は約5万4000平方メートルとなる。

全館LED照明や太陽光パネルの設置など環境に配慮した設備を積極的に導入する。防災面では制振ブレース構造を採用。水害対策として非常用発電機を含む電気施設を2、3階フロアに設置する。